東京電話』わが政府のスペイン國フランコ

フランコ政権オー三人の記述が回じ

朝から陸家浦の丘陵を建つて西北一崎の部落を占城した

【ワジントン一日问题】ハル関務

チを返還して來た、アメリカ後」 「糖の意を表明すると共に右ランチ抑留事件について遺 所有ランチ抑留事件について遺

軍司令官と會談南總督けさ小磯

米國務長官言明

日间望る廣德からが淡に

長樂舖占據

【常州にて二日同盟特派員發】一氣に

金壇を屠らんと天王寺街道を西進中の○○部隊は本日午前十時金壇東方約

部隊は二日午後零時 金墳城に殺到城内の敵と大激戦を演じつつわり、【上海二日同盟至急報】中塘橋より一氣に金頃に迫つた大野助川等の諸

東京支社特電

中塘橋に進川、その先鋒は既に金

城内の敵と大激戰

城は京滬鐵道及び鎮江、溧陽街道の要衝で水路は江南大運河の溧陽、漕河の分岐點に當り古來絹織物の産地とし

潤々退却を始め鎮江に通する街道上を西北方に向け潰走中である、なほ我軍の猛攻撃によつて陥落間!

|常帆にて一日同盟特派員發]|丹陽の敵はわが空軍の猛烈な空爆と 교上部隊の果敢な攻撃に浮き足立ち夜陰に乘じ

の敵續々退却開始

が据を述べた、ヒツトラー 継続ないにヒツトラー 総統を訪問席任の

○ で前例のない長れ峰大場深飛行の ・ 統派行航主機が二日午前上時今ま ・ 近の一基點からイギリス空軍の精 ・ 上つたといはれるがアリマス膨射 ***

示路鴻園大阪は一日正午娘総督 王の知恵を得て一世一代の駐金に「ベルリン1 日前盟特派員蔵】武「前の「玉七七年常時エリザベス女」

路駐園大使は一日正午機統官

ヒ總統ご會見 武者小路大使

ドレーク氏で今を去る三百六十字最初の世界開龍者はフランシス・

マツセン産機器客職一テーブル「編練の大乗行は來年五月まで半年」【モスコー「日间變】ソヴエート「計畫であると言つてゐるた功績に蠢み特に機械の數算所」比強につくこととなつた、この大「「」【・・・・・・・・・ しても十万至十三名の猾

及び鐵道敷設計畫 蘇聯の工業生産額

澳門を狙う

匍國と親善關係強化

海二日同盟至急報】丹陽停車場を占據した我○○部隊は城內殘敵と二日早曉來激烈な市街戰を演じ、

早曉來、激烈な市街戦

鈗眼から猛烈な機關銃の一齊射擊迫擊砲等を以て頑强に抵抗してゐるがわが軍は次第に束と南から丹陽を包閣す

六百米の距離に肉薄し城内の敵と激戰中である、敵は城壁の

説明を職取し現下の諸重要問題に

陷落目睫の間に迫る

一計するドイツの友好的態度を

後の協力を要請した更に初し化を表び東亜においてもこの防共一駆けたければならんと力鋭

共協定の成立及び世界防実際の強

英飛行艇五機

精神に則り日本に協力平和の確立 ために兩個は益々富國弱兵の変を

八陽停車場を確

常州にて一日同盟特派昌發】京滬鐡道に沿ふて一

常欄にて一日同盟特派員塾】一日夜丹陽停車場を確保した結果南京と上海を結ぶ京滬鐵道三百キロの三分の三は6體勢をとり午後八時には早くも丹陽停車場を確保した、かくて丹陽陷落は今や目睫の間に迫つた

英紙の報道

空場戦線 大本資海軍部一 に〇〇〇キロの巨弾を浴びせ、

古期間におけるおが部隊の戦死 海軍の戦死者

日標水、金塩などに映の大理解

像は五間山麓を避つて延辺駅に官城街道を西遊してある〇〇部

し、これに對しわが方の推索は一「京漢戦線 大本管陸軍部」

向け進撃中の日本部隊は一日年早くも撤退開始――一方運辖に 草旗を讃した。更に廣徳占領後

Pの地壁に造した、 丹陽の敵は

戰局日記

米アジア艦隊 旗艦マニラ

學質局重要阻壓所重要派出所長ヲ朱安、嘉潔、技手、清ロ - 東次朱安、嘉潔、技手、清ロ - 東次

【上称】日同盟】上海事機報題と

、咸吨贩政所勐妨ヲ命

「新義州販遊所動務ヲ下田一薩八 ,京城地方學資局在勘 原田 勘一

京城地方專賣品在動

長距離大編隊飛行

· 全州地方專賣局在動 格原 - 義夫

阿 販賣所長

木村 (東市 本村) 東市 (東市 本村)

一周近行を述べる建定である。 一男元百十八年の工家生産動及 いイメリス に使力して 一月 ニューザウス・ウエールス州 に使力は一千九百卅八年皮工寮生 で取代表として参加し大いで産業 一般の サールス州 に使力は一千九百卅八年皮工寮生 で取代表として参加し大いで産業 一般の サールス州 に使力は一千九百卅八年の工家生産動及らマルタ、エチプト、印度、 邦来 一千九百三十八年の工家生産動及らマルタ、エチプト、印度、 邦来 一千九百三十八年の工家生産動及

動物ラ命ス
駅資所長・原田・勘一 (各通)

本る計目領別任の豫定で同事教育長東上の日午後二時四十分京城一日年後二時四十分京城一日年後二時四十分京城

テ 同上 の単で新京へ赴任 の単で新京へ赴任 の単で新京へ赴任 人

(朝鮮石油電役)

と傳へられ、英國の目指すところが果して那邊にあるかは不明なるも極東における唯一のボルトガル領土たる南るが、英國の主たる目的は萬一の場合ボルトガル國第土に英國海軍の根據地ならびに空軍飛行場を設置するにあり認問題につき營業の相互機勝方を認義せんとするものである」都公式に察明した。英國第代表者は既にポルトガルの首席リスポンに慰し発表を主義的である。

とは「疑ひないところで、極東に並ける事態の概念に鑑み英機の態度に極めて注目されてある

のことになった、かくて往年東し親善は更に著しき翻迦を達げ

友の運門(廣東樹入口の西岸に位むし同樹を隔てゝ英領香港に對す)がその最も重大な目標の





あますが、高一品切の一 國楽店に取次がれて

は直接酸毀元へ御申込下さい 「スペロイン」は全

(頂) 世五日分六份號、六日分三個、中五日分赤例、伊五日分赤例、伊丁五日分末頃、 **人阪市天王寺廣東平野町上丁日** 骨五銭浦鮮四拾五銭を要す。

Minima Minima

初めて揺りの論調利能に跳くものにあら、とは主義に跳くものにあら

で押し進して行から 日本は宣傳が下手と言

ノリー紙の所論

難、即そかしき新生

概より一つの實行の方

と松井勝軍叫破

知る

さ、追悼の連言、共に あと百キロ足らず、

- 首相宛の感謝電左の通り。 机宛感謝電を養した、 ムッソリー 成五ツソリーニ首相並にデアノ外出電に接した限園新潟地は一日午 水器に對して一日イタリーより

ふ公文交換を了す

東西の防共陣益々强化

満洲國における 法權撤廢を慶祝

る一大新興國家の毅然たる存在はいよく。世界に確認されることと

【寫眞上 張滿洲國總理、下 フランコ將軍】 | 第1次を監論電報を發し

六頁朝刊八頁

薬店にあり

らその事を数へてゐたの

大事強取扱ヲ命ス大事強取扱ヲ命ス

(0)發明藥を服んで快方 髙貴藥配合 の喜びを得られよ ぜんそく 日服 主治效能 氣管支性(ぬるから) 心臟性(於國句) ぜんそく ă 氣管支 何よりも 先づ此の セキの諸症 咳胃 りあノモセニ◎ よ乞を定指御と【ンイロペス】

電車規則を改め

り、蘇民戸敷に設て八百二十二百一無数で住房を構へてゐた土爺り、蘇民戸敷に設て八百二十二百一無数で住房を構へてゐた土爺」。

阪で渡船顚覆

方不明者多數を出す

定員以上に満載しての除事

交通道德を徹底

鍋頭京談道當局研究

技術科人學試験晴れの合格

帥團司令部と連絡とり

都能を購り除職者の数階級に並即小声京城本町一人間和と職力し降除者に到する本メカネハ中村の指摘と略がし降除者に到する本メカネハ中村

正月用慰問品は

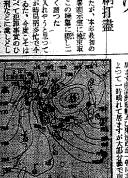
出征勇士の家族に醫療奉仕

全鮮的に同情週間

各職業紹介所や府や道が斡旋

無粋診断しまた最近段だす、

徳永博士と三浦博士



田里二五八金銀泰さん(デ) |として**級重複変中、一項日中**に減去時ごろ京都道始襲都西 により永登消暑では時間解機器

東京 東京 世本 南區 東京 世本 南區 城本町二 器店 | 大田 | 1 日本 | 明治町一 野 デ 滑も服 目

るにしてるた常年食を今年は、 異立を贈呈する事にした 製道局が室國機

管軍事投献的金一口一回以上の (戦者では今次事變に際し大政省)

に決定したが感謝既は左記の通

今大都髪に既し策安全級物の政 既謝に堪へ了姿に深甚なる謝意 を漢す 中和十二年十一月十五日

白衣勇士を慰問

北鮮に雪が積る

送呈

特約店にで伽買上げ願い

ロスノル 関膀の動揺式

元構・区室無比ストープ界の總る特徴をイマ改善向上し

屋上の捕物

難病者

に急告

張公開を致しますから難病者の一六代の高田墨村師愈々當地に出り福岡の名刹眞宗本誓寺住職十一京城府民有志及信徒の熱望によ

万は早々に御出で下さい!!

場 所 日

南大門通御成旅館

電話本局(2)長八四三

月二日より

何れつか姿を晦ます

ー圓を拐帶

天氣豫報(3問

書

田里里

随

職

共産黨を名乘る

平 南西乃至北晴れたり

前温炭貯駅里市。古州京

部炭后店商三次

實具に固産脂

會造る子

渡邊君の陣中便り

第二門等があつた
の外立籍品や選集した領古の大・小男校で執行。の外立籍品や選集した領古の大・小男校で執行。

【群山沃湖州州市阿里市北天

|藤少佐の土産話

望遠鏡は大隊長だけ持つ

では扱い者の批金を眼隔して傷ち、土を穿り入々で埋めつくし、太田では扱い者の批金を眼隔して傷ち、土を穿り入々で埋めつくし、太田では扱い者の批金を開展して傷ち、土を穿り入々で埋めつくし、太田では知いません

買上げ決定

寒地獄を現出

市計令質施で小屋掛けを許されず

細民の大群寒波に戰く

府當局も大頭痛

一行をさかんにするやこれを知つた

朗らな感激の嵐

航海中の船員に召集令狀

見知らぬ人に情は集まり

譽れの首途を祝福

胃患北亥部桑本有馬五郎氏宅 | 本部では同人を有力な容疑者とし | 女極の掤斥腕懶憨を釜山本趾及び過ぎ邑内舜町,朝鮮金融組合 | 堰となるべき物がなかつた、腹套 | 旬に連名で技術員参山某、魔工李 外曲を狙つて怪薬が押し一て指名手配行方を探索してゐるが に逃亡、家宅捜査の結果は何等設 旬に連名で技術員将山茶、職工李 の運轉手二十一名はまる十一月上 各地にも動揺の兆

慶南自動車の居昌営業所

嬰兒殺し

科學的に色を白くする法

でたる所に又人気が なれる所に又人気が なれる所に又人気が

を使はねば色日朝 は入らないのと同

日檀油

(M) pre catelogy

白黒顔やシミーソバ かりません。胃よ質なも何かにつけてど

藥院學術部

計一大光常です。

坂井耳島咽喉科醫院 京城本町一丁目入口 医神士 坂 井

冷機汽館高縣門簡土木建築鐵工機械工具

中根式索條修楊躩械' 中華式最新型コンクリ 一一混合機

乱 京城間崎町 誇るべし 産 中根機械合名會社 油器ウルーフィキ 所張出鮮朝社會式採油醬田野

一入れ、携帶至極いして変が無不可能の対して変が無いである。

だなく充分活動出間自在にで動作に 守る。 して大功を駆けるとなって

●軍刀 剣撃 有段者にても及ばす
●本品者用者 進んで功名を現はす
●とまたでするを現ます の防寒用ごしても特徴の後も添附する異に使用しれ願る良く品位あ

大日本國防具製作所市東藍松屋町筋府立貿易新前

沈金

特約販賣店募集 ☆ カタログ進呈 ☆

鳩居堂の

香と句で

袋

お衣裳に書価幅に

生人太古丸は一日午前九時の出 ・釜山南西路梁郡間就続の定期船 給料貰へず

染り日章旗に

・ビルを摘み空壜を集めて

野內称部長、山本府尹、期川河陽 學童の汗の奉仕 一ケ月分だけで二千三百圓

時十分既時列車で釜山街橋に野宿の職友遺族に纏られて一日午前八

洪蔵で毎日放課後一時間を駅车交 | 数は中等船校四百七十八間六銭。 年二萬圓造成期待

十錢、合計二千二百九十四圓二十

靴下ご羊羹

急ぎ前戦の將兵に送れ戦地慰問品の最適具

海外旅行者,戰鬪用、繁備用

本具の用途効能

且に着用出來る。服の下にも上にも

・遠地にも姪送郭便さして戦地

にて自由に加減出さ者す細き人も脳

井州男士の邑葬

定價

ВΑ

「家のベンキ皐月版から班」 現東公園山麓から延行用の出刄底

て普及署長に前記三名の復職方調 た選得手らは各自麟妻を懐中にし て展権したので去る二十九日級つ 保寒部鰲川面蘇城里高屋登泉港 「大田電話」不義の嬰兒殺し…

大郎無代 進呈数学習際の服理激れ」

先づ説明書を献

淋病は根治出來る

福龍印 ネオ白檀油と球を

ビル天光堂東京本店
、大照は東京市観路一

麻岸性膀胱炎 福旭印と細指定下さい

是非一度おのみ下さい。

各要店にあり 起電元 片山陰化學研究所

程度で漸く雨路を強く住居を構へ一大問題を揺へてゐるが、更に誤問

|居人まで置いて垂||季に入つて地方から釜山へ流れ込||所に細民援鹿地區を設定す

労働者とその家族が簡単な提小型

労商に総六千戸、二萬九千名の 不完全な小原掛け器のられないの | 開鑑は微測な数数を装してある。 とる4年度がある、関郷は府内場 受けて雑造物は続しされ、超費に けの鑑立は許されないので、住

で冬季数年を如何にするかといふ

萬餘の府民の涙に送られて

釜山の楼橋を離る

命取

★特種高貴の合金鋼板を二重式にせる

の大特長

鳥

一統時便者和丸に乗船・十一時四

治せ!弱い体質・腺病質銃後の護りは、健康から、

筋、肩、顎下なごに連球状のグリグリのあるがコリ食慾がなく、食べ物に好き嫌いの多い むすにズラキ Ž 法療眞の服内

びこの変態によって を加へ、整純のため を加へ、整純のため を加へ、整純のため では対人して申込の の変態によって が が では対人して申込の では対人して申込の では対人して申込の では対人して申込の では対人して申込の では対人して申込の

性病科人柳醫院 泛 練兵町停留場ノ少南(午後往診)京城府漢江道三ノー八(午前宅診)

切一品屬附 爾東道製 部旗國敏眞保久大 三可金荷城原 和共一二(2)本東

JP.

選川氏の「朝鮮湖」家に對して、

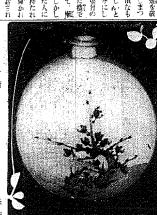
準朝の染付けに、たまじかの鑑 | 磁名考] が出たり、大正十一年に

人正の終り頃になると「白橋には、柳、渡川氏等が、敷田・徳氏は、渡川氏の白棒が上の誇文」 文を 据げ、優いて同年九月 魏の 「京親日報歌上に於ても」 黒氷油

以て、之を反驳し理解を解ぎ、

た方々は、惜しがつて、寒をこぼ で扱くると、その中には、染付の 題はだかつた様である。今に 難がの境等があった機で 追々と内面的に る人が出來て、

つてしまつて、幾つ捨てくしまつ



香者はエリオットの研究に於て

◇…フーゴー・エッケナー 博士の意見 一て、李朝海峡器型が柳氏等によう 論文が振載されたのも、それから 削もないことであった。 が羽毛が生えて飛ってに変れなじ、が絶えてゐた。然るに、それが再き政常観を具へ、朝鮮で任率朝物。の朝鮮物との間は、賦分長い連絡 行つたことのない人までも繋くべ アンの往来は盛んになり、朝鮮に て、編輯された頃になると、内地一日まで、内地に於て傷來し、茶器 其後、昭和七年、『工藝』に於 魔物、李朝物の陶器類が、 疑いて潰むに、遊っない興味を登 本の茶器となった、李朝初郷の隣 入されて來る様になつて來た。 の朝鮮物との間は、題分長い連絡な。しかし輓近将来されるところ とは、日本茶道更に膨然としてゐ として鑑賞され珍様されてゐるこ 古來幾多編輯されてゐて、これを れたのである。 對する認識と、研究によって、 江戸時代を經て三百五十年後の今 時流行を極めてゐる構茶の茶會に たり見るにつけ、朝鮮陶磁器に對 内地に將來されたる名器を目のあ 自年以前に於て、女輟の役に聽し 然るに、私はこれ等の陶磁器に

が何分へりウムガスは水姿ガスの『れたツエッペリソ工場機関誌上で

朝鮮陶磁器漫筆

樹不可缺であるとの結論に達した。エッケナー博士は十月下旬發行さ

不知る性ヘリウムガスの使用が絶

デンプルグ観生なの親フーゴー・

後航空船の安全を期する気には「無明とされてゐた、ところがヒン

して採集的に使用し得るか否かは一き意見

佐藤清敦授著「T·S·工 オツト詩・研究

さである。讀者はこの一章に於ての場合、等に適切な虚體と云ふべ

かない。それならばジェリー

にも李朝朱行が恥列され、名古屋 更に売朝中郷以後の陶磁器が加へめた。間もなく、京大阪の紫亜屋 び日館気役の後に連絡が出来て、 製の脳沙の動物等が京城から並移 奥田氏は『主朝中郷以後の朝鮮陶 は、之によつて全く正賞なるもの 更に李朝中郷以後の陶磁器が加へ られて歌迎されると云ふことはう らない。朝鮮脚磁器に對する鑑賞 例へは『極葉』に於て許された

言論の自由を許され

「帝願意法の第十九」法律書生の一年生でも知つてるる

「日本帝國の臣民は、持国したら、すぐ法律の適用を受

のみ自由で、同じことでも院外へ

日今晩のラチオ

一つて了った」と簡単にかたづけて 稚指な一種の趣数のものが之に代 膨器は、優秀な作品は

田米なかつ の乏しい評論であつた為に、 しまつて、質に同情のない、理解 - 純重租業権りのない放機 由だからといって、どんなことで なるかも知れません。 なつた日には、流言蜚語で一杯に ある位ですから、如何に議院外 も蝶つて差支へないといふことに 『それは富り前ですよ。言論が自 九十二條に(各議院ニ於テ無題)

飛行船のヘリウムガス V

實用上の新たな研究發表

世 抽出するだけで能電影れりとなす。 解説に舞りすることに於いて悪著 は 住光づ成功してある。然し内容を は 日本づ成功してある。然し内容を な概念を掴むことが出來るであら リウツドの『アメリカ美人類学向 従來ミス・アメリカはニニージャ ーシー州アトランテイツク・シチ 新ミス・アメリカ

ふむの朝鮮の窓襲が又支那の作の

ボビーの初舞台 RKO作品

藏(第二回作品) 類のあるポピー・ 九碳の天才歌手 してアメリカで

マーコ嬤突然結婚

本位が輸出されてゐる程度のと

| カー帰職西、ブイリッピン、ブラジ |縣)日活の七十巻(支那、アメリ 六十二巻)新聞社の十二ヶ國(三 百二巻》が多い方で、銀幕外交と 分布脱形は官器のニナ五ケ網(百 興行映画では松竹の大十金(支那) カナダ、パルー)が最も多く ラス・ヴェガス (ネヴアズ州)

まずる 女 東京・神田・神林町三神林ビル、 東京・神田・神林町三神林ビル、 東京・神田・神林町三神林ビル、

和阗、スペイン、ポーランド、 奥太利、伊太利、丁抹、福西、 西漢、孫詞、土耳古、佛屬西、

ユーバ、ボリヴィア、アルゼン自耳囊、薬吉利、メキシコ、キ

片岡干惠戦 福夕起子の三

大スターは率先して今年は

り乍ら、

するが人気極素の俳優であ 諸官職では一斉に之を駆行

特選第三席

で廃止し之を國防観金とする方面への年登録を申合せ

高不破魔男氏

かつたが最近では

提唱する年賀狀態止に伴ひ非常時局に直面して政府が

今年は賀狀廢止 日活三大ス

アメリカ、カナダ、獨選、ソ騷、

では満洲、支部 比集製、シャム

るが、それでも帯變以來ニニース

かしニニースの一本で宣傳映画の 計三十餘ヶ國の多言に造した。

日本の映画界には縁の遠い話であ

州餘國に氾濫

町三、東洋経済出版部 二側五十丝、東京・日本橋・本石 **計田ビル、信正社** 一段、東京・詩田・小川町一ノー 一段、東京・詩田・小川町一ノー ▲激奨助の日本經濟(石橋進山著)

の人気スター達のことして

る由であるが、何が扱當代 一人平均和一萬枚を出すと

4):

★昭法立岡語(藤田高忠著)六十 ★昭法立岡語(藤田高忠著)六十 ★

であるが之を修べ聞いた他

嫌)八十丝、京媛森松町二七、朝◆學校體會(朝鮮の教育研究臨時

▲映畵評論(十二月號)ニュー

上ノ原一六、映畵舒語科)

□ 线、本府朝第山木食事

行て服むのが安全で且つ効果が大き

作用の偏らぬ綜合榮養劑 偏食すると虚弱になると同様に、成分

か多く、而も脂肪の量が最も少ないミッ

河 合 藥學博

有機鏡・キナ等を學理的に綜合してある

ミンB(酵母)・有機燐・カルシウム・

ミッワ肝油ドロップスは茶菱が偏らぬの

みならず、各菜養素が共同作用を起して

騎大きい効果を發現するので、單なる

五瓦(計通)同量一盃一杯)以上に相當 ビタミンA・D含量は、普通薬用肝油の ミツワ肝油ドロツブス一颗の中の一 が解り胃腸に降りの無い事が独られる。

A. を補充しなかつたら、脂肪が過多になり、有害な脂肪の分解産物

燃焼する鳥にはピタミンパが必要なので、

脂肪だけ食べてビタミン

して抵抗力が減弱し、感冒を砂め種々の を残して健康を害すると共に、一方では

の軍総な荣養郷は作用の帰れ恐れがある

が、ビタミンA・D(特許肝油)・ビタ



進めるものがある。それはビタミンD 易くなるのである。然し弦に、目光紫外線に代つてその不足を補ひ、冬でも骨の發育を めて、骨格の發育を運らせる、と共に にビタミンDが生成されず、ビタミン たないと同様に目光の不充分な處や都會の予供には骨の發育不良が多く、目光の遠さ一部物は目光の惠みによつて生長する。日前の草木はよく伸びるが、日際の草木は背 かる秋冬には特に骨の接首が遅れる。

それは日光中の紫外線が少なくなる為に、身體

遅らせる

足は

を最も多量に含むミッワ肝油ドロップスである

抵抗力が弱くなつて感冒や肺炎、結核等に罹り かの不足は弊やカルシウムの化骨を不能ならし

露するなど、個みのある代談士 からといつて、第三者の私行を豊

日光に代って幾宵を

格に檢定してあるのがミッフ肝油ドロップス とした上で、一々ピタミンボ・Dの含量を しくした上で、一々ピタミンボ・Dの含量を で変なに無の肝臓から抽出し、乳化して消化吸 があるがある。

レーブル確を最も理想的た米國帝

た共に 近域というに要体線を開射して出来るのがあり、同 に、近域というに要体線を開射して出来るのがあり、同 には、近域とない。 では、見ると鍵管の進みだは、肝油のDの方が良い では、見ると鍵管の進みだは、肝油のDの方が良い 進めるビタミング

なので、その製海は日・英・米・佛・諸・なので、その製海は日・英・米・佛・諸・なので、その製海は日・英・米・佛・諸・なので、その製海は日・英・米・佛・諸・なので、その製海は日・英・米・佛・諸・なので、その製海は日・英・米・佛・諸・なので、その製海は日・英・米・帰・諸・ 大宗遊が大に推奨して居る。大宗遊が大に推奨して居る。 大宗極楽の漢跡に、質師変・継続派の選供。 感冒や師が歌地 一抵が沢の選供。 感冒や師量が僻峭されて居るから、僧の窪 冬月保温の爲に、誰でも脂肪の多い物 V・Aが缺けると有害 がを食べるが、食べた脂肪が し郵等五銭封入申込次が定皇
・ 文集調明書及びミッロ肝油ド

て禁證を完全ならしめる爲には、肝油劑中で一番ビタミンAの含量 「ワ肝油ドロップスを、平常 病氣に冒される。之を防い 盆々ピタミンAの献ぎを起

入れ、沿沿湯を注いで経き動せて城へに

二(表代)护御师能•茶〇-*七万页浩慢 國兩•倉東 記.n葉・店商屋見丸 舗本館石ワツミの

して全部溶解し、牛乳を耐機の乳液とな

るのに依つて、如何に消化吸收が良、か

消化吸收良き完全乳化劑 ミツワ野油ドロツブス一頭をコップに

*

出征將兵を

に嬉はす慰問袋の到着!

一に嬉はす

一四!



●河血線計画参

対トニク●

聖さんだ事は富り前だねる

太郎畵 作

野土産リルチラ

題がたくてたまうのープノ

養鷄及家畜飼料(鹽鹽醬) 緊急語詞 澤浦精米所飼料部

これ迄のバニ

シング

宫內省御用 솕 製薬 株

頂魯正 nna **卸小賣** 共

京級本町 三 田 政

も知れません。 まで、すこし、 原料も製法もまるで違ふ んですから。 だから、おな

京城府貨金町三丁目永樂町通り

が本當 ど面倒か

力となり、同時に抵抗力となつて病動権物帯北地大・戦闘人家 の榮養は盡く精ビタギンル・サラシ の榮養は盡く精收せしめると同時に、仁丹に含む、 社會式株丹仁下森

敵の殲滅を容易ならしめます

中藥仁四四世級の

食物中の榮養分を完全に消化吸











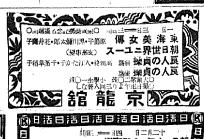
ひ、身に榮養を充實することに却つて風邪のもと、常に薄着をれは大變なお間違ひで、厚着こ

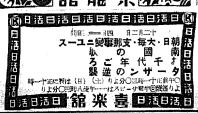
れるのですって、ほんとうの健康を保ち得 その榮養をどうして求めるか

さも不關心かの樣な矛盾をなさつ力培養のお手當を加へることには寒さも平氣、風邪も近よれね抵抗

ることは、御身につ本格的に寒くなるに











栗甘の田池 神神



資金不安解消

もある が縮少するのでないか つても想はその割り下げ

限外六千萬圓

一日付で許可

この心理的好影響は大

派對外傷有組飾 (二十日) 10三間子

ット総へて居ります。 兎角する内 大 つそウ出ても気からう』 には 単常総内以下十人の門第がズ 向って、 大のでは、大助は小魔太に 連が脳へて居る、又書の意識の内 思って居ります、大助は小魔太に に四ツのお時計がなりますと、大



一等三型 (\$10 (\$10) (

(丸七仲立組合出来値)

川正米市況

其の下は家中一同の拜見所にたつ。田太潔が打込まれ、加襲文之道が

た聴き、其の前を足標素が六尺様。で頭竜代を変めて居る三宅植長橋で見物させて戦くといふので大規。 打直けました、ソコで十河の戦略 きな者などは、お田入町人に頼ん。何れも内田宏潔太と云本者の爲に て居る、又城下の者でも鍼歯の好。又負け、外二人出た十萬の門人が 掛けて、太守の座が取つてある、

代って田た堀口六郎が天真け、雅

の馬場といふ所に御縁版を設け、一等方から田た内田左原太といふ者

意々當日になると、師城内百間一方が景氣が宜くなった、スルル

作を又打込んだから、今度は十月

晴れの大試合 (38)

> 龍齋貞丈演 木俣茂媚脂

自言毛能を敷き、自毛質を手指にの常に達々大川泉左衛門が負けた

りと見て、ヘテな蘇り此奴員顕れと其れへ遊んだ、大島争六プロ ふ位の若者、何の此奴がと頭から

##+00 ##+#0 ##+#0 ##+#0

段にピタリと附けたが、兄大助義 馬鹿にして掛つた、筒井小道太中

師から残へられた神障が八良の遺

金十郎は太田原平の爲に負れを取

りました、星崎方の勇気に引替へ

人といふ者打負かしました、サア 星輪力ではモウ田る者がたい、環 ら、怖々立田るのを、片ツ端から五 奴は田た所で献はないのは知って

田恵平を負かす、代つて田た堀久一の勝負に如何相成りませっから大川旻左衛門といふ者が田て太一に小原太と試合をするといふ

でガツカリした、今度は十河方か て、十河の方では眞先に負けたの

るないから基準原内が立出で、

三三合打合ひましたが、他ち山田のるが、田心い歌にもゆかないか探をして、竹刀を取つて後へ進り、取ら書すり『南にずしの「まって

基略游内方より、太田原手と名乗

へ打倒れました、モウ麻範代が先 『御画』と見事に一本、半六共れ

り山田金十郎と名乗つて立田で文

って一人曲る、双方共に叮嚀に擦一へ出て負付て引ったのだから使の

合個の太鼓と共に十河民部の方よ んで居りまする。其の内にドン 々堂々として新羅県の如くに居列 / ツギつて見ようと、 性く呼吸を計 中の人々、醴像三百蛟像三千、正 れも重役でございます、其の外家一覧、利くか利かぬか都古の爲に一 左補門、山邊企之連、戶田源內何 内配と申す人々、其から大河原三 丸、最上石見、最上字十郎、最上 重役の内に設上六戦と申しまして「坂へ届いたか少しは越えたかと思 連れて着座いたしました、最上家一四般だ。第一年が若い来た北端の 左の上席が松蔭特益、作麼之池を の内には十河民部を初め村上大助。も十河の方が星島方から見ると境東西に豪敬がしてあつて東の幕照。中六の爲に打込まれた、ようして と云つて類りに制して居る、扨てしました、遂に三宅城兵権は大路 なつてはたらんぞ、退がつて居れ一代が用たなと思ったから、基輪の 選つて居れく、、文合の形態には、内田芸原太を打込み、高山**館一郎**を持つて、『南へ田ではたらん。」といっ古が出まして、**減らの事で** 段上三左衛門、最上中**物、**最上多聞 右の上席が一の家老の玉井市正、 つてはたらん、殿様のお月瞭りにしという者を打込んだ。先方外節機 (ドン/くといぶ勝負が始まる 缺く所をしめたとばかり損込んで 島宇六身體が煉んでヨロくと輪 つて居たが、ヤッといふ担郷、大 方でも大島半六とい

24-80 14-40





、施、川村予部院構織のの搬に「上海二日川盟」陸の生神時、野

喋水を爆撃

ベルナルト間下

満洲國ミフランコ政府

相互承認の交換公文

御見舞電御發送

き一日同隣島帝陛下に御見 殿下が負貼せられなるにつ オランダ関泉族ベルナルト【東京電話】天泉陛下にほ

棒ヘーグに向はせらむ 君にわたらせられ、去月こ ジュリアナ内親王殿下の夫 ベルナルト級下は同國弘副 舞電報を卸設定あせばされ

ソコ政権側代表カステイヨ氏との諸刑國代表院提案駐日大使、フラ 数距開大陸の二新興國は聞く提手

側に公文譜の交換を行ひ、こゝに

演洲治戦政府はインターナショ り質下に對し左の通り申進する

ナルの破壊的活動の防遏に努力

本使は茲に重ねて敬意

推りである。石交換公文器は左の

務省に於て堀内次官立會のもとに 政府間相互承認は二日午後一時外

陳者本便は本戦政府の劉令に依 以書館啓上致し候 語歴文O 語歴文O

を表して永遠することを宣称が何として永遠することを宣称が何として永遠するの間に差に想するの間に差に想する。 大好関係が個定的に選定を するに常りスペイン優の账等及 で表して、またません。

ブランコ將軍閥下政府代表プラ 駐勘大日本帝國

帝國特命全權大使

【東京電話】浦州園並にフランコ

| 1月||1個別、企业相互。 ② 恵職 見ら離して販売の離し第三末・野本寺初帯は東土の町 | 中販走する蘇老金の膨緩を加へたの原理を治せ、更に又地上部隊 [上海||日同盟||沿東北海県原産中町、丹棚に飛び変別を打つて西方に向盟時我保に南京防衛の第二回要地 | 連水に環び離主要極地に0004 | **敵の後力陣地猛爆** 地に騒然で振動を行って西方に向

(上海二日同盟) 我那の精鋭〇〇一

り共産軍の魔手を逃れて一日太原

【太原二日同盟】 山西省五泰山よ

伊宣教師の談

飛行場急襲 廣東郊外の

□の原卵を治せ、更に又地上部域 「生海」目前置に洪東城忠家(土田、丹郷に親では瀬を打って西方に向 産水に親び蛇主東城地に000キ 敵の後方陣地猛爆 地に顕然な蝦夷を勢行、又一郎は 本自身戦をして一斉に丹塚、金塚、 縁を加へ、これに大批説を加へた と共に江陸西方に飛び艦の皮方隊

金壇城を完全に占領

防御

上事に主力傾注

南京を鋼鐵の陣に

大空中戦を展開

敵機十三を確實に撃墜

【○○基地二日同盟】南郷大尉指揮の○○機は二日午前十一時半長驅南京に飛び、大校場飛行場を空{トト 自我由派行場を急騰徹底的爆撃を 機は二日午前九時半廣東郊外東山 加へ目下同飛行場は馬棚天に伸し

我方全機無事に歸還

襲するや敵戦闘機卅機、軍爆撃機三機が反撃し來り、南京上空において未曾有の壯烈極まりなき大空 中戦を演じ、敵戦闘機十機、重爆撃機三機を確實に撃墜し、我方全機無事節還した

蔣介石政權の承認

第へたのち全機無事基地に帰還 て専門組をも在職能に多大の批批してあるが、更に我が特徴は北上し

一理税権成は一日連口より否借者、 移轉と共に香地用機間に航空路開

わが陸戦隊

字紙、||漢字紙に掲げられ支那人忠 運向に到着して報道したものであ 省に赤運北方の手山に行く外入が

廣東省政府への入電

上海租界問題

英下院○質問應答

段の必要が起り中國航空公司總經一である

【香郷二日同盟】 幽民政府の重慶 | 香港政路の常局者と打会せを開始 | 日本軍多数が軍院提護の下に上陸

加空路開設打合せ

した、最短期間内に質症の見込み

しつつありとの記事を探げてゐた

府は既にその歴要機關の全部を奥地に移轉分散した出も最早時間の問題と見られるに至つたが、南京政立攻略も目睫の間に迫りつつあり、昨介石の南京脱 「東京電話」北支における皇軍占據區域内には年津地 で全く拭はれ、一方上海戦線は我軍の卒追物凄く南力を始め隨所に自治的維持會の結成を見、戦禍は今 取消し意見有力化

た場合には、同政権は國内統治の機能を全く喪失せが政府の一部においては严政権がかかる事態に陷つ こ一地方段催化することは明瞭な所であるから、我ので政介石の首都南京地楽と同時に蔣政權は實質的 の意見が有力化するに至った るものとの理由の下に、これが承認を取消すべしと

の前空海上 卷繪大國軍

原側支那人は種度の神器過級に陷一保安隊を武裝解除した記録背し来一

【ロンドン二日同盟】一日午後の

り非常な恐怖心にかられてゐる機一つた。同島は水魚豊富三陸作地と 【香港二日同盟】最近常地及び廣一面上川山島を占領し同所にあった

日機関の思想を受けなに抗日機器一発日本陸職隊が十一月末日台市前一演門から四十哩南方の赤澤對岸に 山西聯合自治政府 太原に設立決定

軍側より約了名田席協議の結果、 太原に山西聯合自治政府を設定す 自治育代表于五名が太原に参集、 繁時、折騙、定義、解樂の七郎の 投資の成立と共に日を追ふて旺盛 的商務會代表及代州、五言、涅縣 たりつつあるが、

二日午前太原 長の山西復興運動は各地治安継 語つた デオ神女は共産軍につき左の如く 東は『支那のために職ふのでは 東は『支那のために職ふのでは 東京政府と聞ふっもりだ、共産

るとに決定会後星軍と協力して山 西復興に邁進するととなった尚に 心を買ってことに努めてをり

「旅を中心に金圏に配布し、やく

に主力を傾割してゐる。外人側に「附近一面を夢地と化して「帶を天」躺着喉地を腰要し三段四段の構へ。みんとしてゐる。而言為并名伝宗、後間は子皮を日に大い言語樂主が「石白樹、東陽湖等の底跡を勇善し、南京四陸の山々には蛇峡の如く高、鰺の蠍弾を化して意欲の一般を逃逃離に命へ、南京は郊外市内なる。右翼に、紫面の赤山を中心として「春以て煌の跡礁を融めると共に、「すると云はれ、惟を南京「僧を錦)を駆い離れ、南京は郊外市内なる。古翼に、紫面の赤山を中心として「春以て煌の跡礁を融めると共に、「すると云はれ、惟を南京「僧を錦)

有製に、常面の赤山を中心として「を以て蛇の貯備を配めると共に、「すると云はれ、恰も南京二僧を辨」はずべてを得る」との嬬蛮を正し「糠は蝋朮吸薬を本質に、無洞を「かりのソヴェート聯邦神首五子墓」南京市内のAにても孔子五萬に達「はずべてを失ひ。日本に挑戦すれ

【平原] 日同盟】 書補籍に南下 名以北を席巻せる皇軍伝道々た 濟南は南京同様

ならずして決定を見るはずである。脚合自治政府の主席網鎖などは日

山西共産軍 殲滅的打擊

を示して皆る、蟹民政府の首都南「三の跡郷陣を振奪し蘇命の一日も」「蘇主牌を睨みつゝ一聚解院の意氣」安・大議り、亳州の要地に第二、第 台灣流の彼方に西南を中心とする。又人勢非なるを祭知し衛南々方泰 起たしきものあり、職後祭

ユキロン 附近に密集する確認報を

協かの方向極操をはかりつい 面に逃避しついあり旅商城は南京 と同様、政府行政機器を失い、事一 である、省政府機関は領々党州方 加へた、即ち道藤部版の〇〇樓は一 本日午前任間集(形應來用方約廿 に護動しつつある際部隊に猛撃を 【天排二日同盟】我が壁の荒陰部 陸の荒鷲部隊 彰德附近爆擊

師を各版した、次いで労働策略長

についてはられ以上申上げたく

充満する敵部隊を登見これを爆撃 競見これを爆撃沿走せしめた、一 陰南方約七キロの後方李米部落に 万中宮部隊は午後本時山十五分湯

針と一致するところたり、依つ産主義排撃は日節層間の根本方

を正式承認することとなり十二 及同 政権においても関係 京において在東京浦州帝國特命月二日日本政府斡旋のもとに東

我が満洲国にありて

外務省發表

駐剳大日本帝與滿洲帝國特命全

張總理の聲明

【新京二日同盟】フランコ政権と

浦洲圏との相互承認に関する張圏

フランシスコ・ホセ・デルトの政府代表

帝々として要果を飲め、今日に 野アランコ帯軍の設置は七の後 関フランコ帯軍の設置は七の後 務總理大臣の撃明は、二日午後五

に関する公文を相互に手変せり 者カステイヨ氏との間に右承認 おいては同政権をスペイン関のおいては同政権をスペイン関のを承認したるに鑑み投油川陽に

を表し候の数具本代表は茲に関下に向ひて敬意

西腊一九三七年

經額大日本帝國フラシコ將軍關

阮駐日大使談

巨人會のメンバーで 體重二十二貫六百八

立脈つて原取の表面にな はなるほど肌配の搭照になれ ことは激節は概能になれ ことは激節は概能になれ

内服薬の僅か

【東京電話】阮駐日滿洲國大使談 ペイン関の正統政府として承認 するに決し、フランコ特軍の 世界手和の確保に偉大な真れると共になると事態の驱 開図の報答器保は一届緊密化さ 自社業務方在発氏の頭かな情報

巨人ばかりだぞ、あいつが一年とには外では、これや面白いい ソだ々と聞き質すと▲驚いたと の外が騒々しく人の氣配がする で見にやると▲腹を抱へて闘つ のでヘンだと思つてお酢の妓生 級に曰く --▲『明月館で巨人 一來るのでクこれはます。 したと言さ、どうも部屋

奴かたあきこれを知らず部屋 の原因がどれも優秀・決しいの原因がどれも優秀・決しい。 間の力に関る原所概を選 すで概く秘密し、一方親 すで概く秘密し、一方親 が出来た所選には他 治腹の近道と

ん・銀叉銀 素人に削っての注意だけ ることが肝要とします。

日東敦聯合名愈社製品

各地共産軍を 湖南に集結 蔣介石直系軍に編入 南京防衛の最前線へ 芝罘平静

に普加したものと確信する。
界政制に及ぼす重大な拡張は同

恩し、兩種界の治安萎縮上面白か

のいるのがあるので、我方では治 からむ支那人が英佛和界内に跋

警備を強化すべく準備中のとこ

上二日正午大春福記録を

敷行することに決した、當日は形 以て顛耿聚に亘り、堂々大行池を

際治規諸縣に集中したと限へられ 祭辿坦に伴び最近同地を搬送、 **る宗を中心に抵抗の歴象を整へつ** あった韓国軍は南南方面の形 〇〇茶地二日同盟]山東方面 の情報によれば、事學語及當時

今回 母太利展が他圏に串

譽總領事談

朴滿洲國名

高等単に関連しつへあり 南總督へ返禮電 海湖竜圏の質節を定御せず不永は別へ、未だ印建にも繋然たる際に退み常然且つ必然的顕纏と を聞ると共に、世界平和と人類とし特束基を開図の報等と繁榮光して我が溢出情図の報等と繁榮 州南極めて意義深含快撃に接て発験の脅進に貢献せんとする時 ・推議機の権利が締結され他

海軍の荒魔も温味で空中から参加

し、泉軍の威力を堂々世界に宣揚

香港、重慶間

上海空前の軍隊大約卷を展開し力が擡頭するを受慮し、之が懷柔・軍となし、新楊第八路軍と阿装南

| 策に耐心しつつあつた所、確なる | 京防衛の最前線に出動せしめるこ めついあつたが、職失共産軍の幣に脳をしめ、之を改稱して第四路

一腕への情報によれば魔匪、福建、一とになったと驚へられる

口に至る大行道を行ふはずである

この地上行趙に呼應し我が禁

一関節から始盛、兩郡界を程で红

外務省群令 自製度なる個親電深語す、M 一日之に對し左記の返電があっ **専用部伊大使宛祝龍を發したが** 伊淑春関係場化のため微力を設善に対する理解を特進し以て日 一層液めしめると共に製物の事態に対する伊太利の認識 師其際定成立に際し自題者

任公政部一等書記官(四帯) ベイン阿正版を命十 【東京電話】 然し年に之等の諸國と品 安全庁原皇の理想部目指し の下に着々として健全なる疑惑消毒性が発展を

左の如く搭振したと質問したに對してエデン外相は するイでデン外相の所見如何たと博へられるがこの問題に対に占領するかも知れないといつ た推論を下すことは漢まなけらたがこの談話から除り行き過ぎ 遠辺伊太利の永認に依つて完全 一員たる日本館園を始め厳制 獨立 医学としての場合 て得る網通網も既に緊密なる

刑事機に對する日本帝國の行職 問時に、其の一部の表現たる支養の防戮乃至疑滅に護漢すると

tr tr

淋菌が尿道を

質問に對する返事はさきの答案と重ねて詰め寄るとイーデン外相

質取闘方を要請されたか

長からんことにのみ汲々たる有様

三十二十二回を有賀氏の功器を讃く 慰労能養育を開催、デザート 日午後六時丸の内中央事に於 有賀氏慰勞晚餐會 概念さるとPは来ないの にある刑技能が中央にあ にある刑技能が中央にあ にある刑技能が中央にあ にある刑技能が中央にあ にある刑技能が中央にあ にある刑技能が中央にあ

定の病巣

域も中では、 を発力では、 を発力では、 を発力である。 を発力である。 を発力である。 を発力である。 を発力である。 を発力である。 を発力である。 を発力である。 を対して、 をがして、 をがし、 をがして、 をがして、 をがして、 をがして、 をがして、 をがして、 をがして、 をがして、 をがし、 をが、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をが、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし て

御註文の

な は との が といたします、 数にも との が 野に に りと 変文へない 敷に が が か との が 野に に 数 知の 致菌 法 で ら 会に人、理か、血に ・ すい。 ・ すい。 ・ すい。 ・ すい。 ・ すい。 ・ では、 ・ で 療医では簡指定を答

(松) <〇丸入約で1月皇十 - 周(松) <〇丸入約で1月皇十 - 周(松) - 田(大) - ÷ Kii

からして浸暖(病

文 撤 進 呈

佐藤 榮先生發明東京吉原遊廊

淋菌の病層を治療す

新二色完成の 途を二元化し素人完評ある銀劑の用 殺菌に醫師専門の 療法

ギンオラフ

治途 汁に苦惱す 療の完璧を進 t

消失の容子なき慢性る急性、 淋糸が更に疼痛・膿汁に苦惱さ 性

消 る疼

後顧の憂へ尿る銀治療劑の効果 份學博士 へ尿道より 果を延 絕長 し

おいた。 一般に対している。 が、現就に現化をつけて場別的版をするが来と て場別的版をするが来と になりましたが、 経サがすべ幅して用いて となりましたが、 の部を順名 のでは、 になりましたが、 の部は H 谷 利 男

光る・新一色劇

+

安全に個易に

MAIA TO TO THE MAIA THE MAIA THE MAIA THE MAIA THE M

際

. .

数.

說

態と心思は伸びんとする諸語図と現状維持國との對文的色彩と歌語

葬儀の申合

朝鮮水上聯盟で計畫

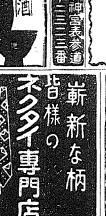
大體の基準决る

《一京城日報社 信場·丁子屋

志軍の奮戰を偲ぶ出品の數々











切符發質 以逐大速內地直行 日洞連絡毎日慶 大連內地直行 日洞連絡毎日慶

元山田紀 作時語 朝鮮運送支店 电新二乙香

西部市出紀 八理店 宮田 南曾一十一日廿五日 十二月廿四日 中二月廿四日 金田二二十四日

神洋山東 八連市 國際運輸支店 神洋山東 八連市 國際運輸支店

務院を物語る質い職利品、また一一度は見ればならぬ国品物ばかりで一たい職利品級は愈上ける最終日、

商業手形を利用する

貸付けを制壓か

調整法施行に缺陷

真正o 滩酒

STATE OF THE PARTY

商業登記公告 鳴谷汽船株式會社

日 株式會計朝鮮風速銀行昭和拾貳年日 株式會計朝鮮風速銀行昭和拾貳年一付機 拾錢百四日各前株二付機 公三名ル株金和ヲ金五拾減日 以三名ル株金和ヲ金五拾減1年 方法院原州支廳右照利旅哨指導人工

二九七五 八〇〇〇 〇〇〇〇

(川田川田)

今や全世界に堂々として示す

夕刊後の市况 八九、五〇 三〇 二五二、三〇 三〇 七七、〇〇 一〇

藤商議理事土産談

に対し多大の打撃を及ぼさいる。 ては同航天産用登所を支店に対しる大に中の衛気をしむると、任務に中の衛気をその中に気役は目前襲勢の大に 前工業の賃款に即、の条号の総入は百五十歳役に用を適切に 前工業の賃款に即、の条号の総入は百五十歳役に用を適切に 前工業の賃款に即、の条号の総入は百五十歳

市西川甚五郎高店

池

卷 定 價 五

東變亂水禍より起し、半島英雄大院君の執政から王年之を稱して近代朝鮮史と謂ふ。筆を純飆以後三代の数と出來に史論であり、史話であり、史實である、故に著者曰く此書は著苦十年間の檢討と蒐集と校正によつ

全權或は一代の文豪をして天津客天空を靡す慶會樓の大工事、江華

書は然らず朝鮮から見た近代朝鮮史である。 鳴 社

町丘

11川田代代原店日鲜《惠林大會社 日本市北 土河十二日 日本市北 土河十二日 田 海 丸 土河十二日 天 海 丸 十月十二日 平山田代 代西店 静山海道社 上月十二日 東京部山城代理店が経済登出田所 東京部山城代理店が経済登出田所 東京市山城 七月十一日 明 春 丸 七月十一日 || | 田本梅丸 十日 | 京 梅 丸 十日 | 日本梅丸 十日

Œ B

松本酒造 清水酒造

村崎酒造

京城府南大門通二丁目一明治三十二年

大温泉ブール パス、ハイヤ

濱田

酒造 酒

田

酒

造

冷雲台温泉ホテル

Æ

悪 六

Tr.

温水暖房

三階ノ

新浴

槽

酉

造

石

馬山工場山邑酒造會社

酒造場



超杂世机 代理店 网際逐續支持 北陸、北海流行

の株式 朝鮮商業銀行

とやあかざれば、手や足の皮質が て懸さにさらされる度に摂が紫色 保備に搬まされたり、或は外出し

なったりして困るものです。ひ

東院には、皮膚の抵抗力を騙める (あたしめてマッサージして、す やうがたいもので、兵隊さん虚したっちつに載いて入ったら、よ歌語になってしまひ、手の下ししゃうた建筑医及手間が效果があり

ます。先づお風呂へ入つたら、よ

外出から鰡つたときはよくまた、「同)の均一翼田しを十五日迄行ふい郷果があります。水仕事のおと、ニング(七十頁)耐交那(五十五

ニング(七十順)社交服(五十五

おくと綺麗に帰抜けします

と思はれます、本病の療法中薬

爾 本田建義氏

見える部分のむだ毛も削つて

駒刀の切れないのを使用するの

一変田しを行ふ、洋服部ではモー

ちしても中々乾かず、溶けて いても一面についても囲ほど 入れてお言ますと、表面は乾使つた石鹼を石鹼図の中へ

まで中国ーニ・子三国までの呉服均

たので京城三速では二日から五日

均一度出し

ル丁銭や沃度丁銭を主頭とした草

い婦人や子供はひょ、あかぎれ

とす、水化帯にどすると、そ

るのでも、動脈性の充血であり 寒で

ますと一年や二年は出來ません るのも一つの方法で、一度吸ばせ

類がみにくしほど資赤になって

から、よほどひどくない方でないた跡が一二ヶ月は消えません せん、近頃は、紫外柳原法や、ければ、瀬にはお子ゝめ田來ま

のも同様です。但し蛭が吸ひつ

に原現するはらは、蘇膀性の簡単 その流さけ思みを借ひ、局所

「は、頭の紫色」には、ベルツ水 東傷にはカンフ

手書の葉としてに、ひびあかぎれ

が出来たり、潰瘍を起したり ですが、更に程度が進めば、水

お肌を荒さぬ!

例り方言 は必ずの生え」ひます



剃刀の使ひ方 ●ご自分でなさる方のために

上しい学順でお扱いできい

のと渡らすのと二種要ります、のと渡らすのと二種要ります。 別尚、タオルは乾いた のと渡らすのと二種要ります。

| 微物です。様足は、生え際の短いし馴れない方が無理して剃るのは

耳像はいれずに剃りませる、然

若者の神經衰弱

毛をすつかり割つてしまふと省が

《く見えますから、機分のこし

身を思へば懇観的になります。

手で堪足をおされ、生え際から

終つたら大々と拭かないと石織が

開から大第に下の方へ剃ることで 石臓に明る部分だけに強つて刺り

を包しいつまでも脱についてあるために

ります、後を削る時に会せ鏡を使 トの方へたてにするつと正しく朝

と失敗しません、衣紋を抜く方一

最初生主際の形をつけて刺り、

大に届のつけ出まで縦にすーつと で、「し、もみ上げの形をつけて なん、顔を終ったら左右の甑勘 かへて親ったり、泣潤りをする



胡麻酔はいから

人をつけて終くマグサーチを行」 材料 魔蛙(五人前三切れ位) 一腔能・発進で味をつけたものです | も工夫次第で立派に参照にも出せ | 和へます|| も工夫次第で立派に参照にも出せ | 和へます

のが不正なの任實は下顎に原因が一骨の矯正である。前の位置だけを に見ると前親部だけでなく白蛾部

・手術が難しくなる。

矯正は前列を も不正があつたりする。上の前、正常にすると言うよりも根因の頭

一貫はれていたが、これに関った

かり無にてるものだが、よく概べに行った方がよく、年をとるほど 一般の人は目につく節の位置は「我へで、小男校あるひはそれ以前 共協定の伊太利ではヴエネチアン あちらで流行 夫人の手で都介されました、断っクックック・

か、とが五时もあつて丁度、英国のあとするによく似たものです

小便つまり

は本病の緒牌療法として相信効果

法や理學的概法(冷水療療など)

す、如何なる手术を教すべきで、関州のものが下り見苦しい程で、一定なってゐます、放尿時豆の二、三年寒くなると小便結

【答】沒戶病院長

観形をなし 共博は全く小便通ば 古い批別が別道を聞して遺憾 にり全治日数も多くなり苦痛も大 明を要するとなると死亡率も多く が曲り、又一部は残り、一部は十 り、それが全治するに従って尿治 、死の苦しみに磨るから、それま なり、尿道系量として不規則の 受くべきである、其種度が大手 にならの内に是非事門機の治療

と云ふ原斑は質は頭骨その他群。の不正から来てゐる。これは大て、たる。欝ならびのよい蠢いは軽貎。四五歳でないと矯正できないやう

いよ人

~大陸の寒さ

気を含さとりあとへ悪をつけてお

手具輪

側には、タバコの銀紙をびつ

きめておいて、面につく片

たりはりつけておいてごらん

出て來る。頻ペた日の丸

ひゞ、あかぎれ、凍傷の手當について

質別不正、つまり伸ならびが怒。牙を安へる組織の形態とか大きさ。 てしまつたり むじけたりして聞く

またはそれ以上の選牙が列外に出 け列っことが出来ずその精果一個 ある大きなの難牙が定まった数だ

合いできるだけ初期がよい。昔い 永久郎が生え続い年間 つまり十

剪列不正が幾至して新正する場

育させることだので外面の問題で

なく登録の發育と大いに関係があ 個ならびの矯正は顕常を正常に最 容貌に影響する

で骨の競音不全のため起ったもの

を受が不完分で質牙及領骨の後 質骨に関化させるとなると一ケル

9不正が題る。こ 以上數年の時日を要する。微つて

つまり矯正的科手術と云つてゐる

元のままだから貧菌との誤和が少

た不正概念を治すのは質別矯正法とで、如何なる年間でもできるは

あるといふ例も少くない。からし、變化させるたらば比較的容易だこ

世牙の植はる僧が小さいから、

れらの點について開我の注意を

歯並びの不正

幼い中に矯すがよい

石樾について親純は、水に滑なることもなく。便利です。 たさい。決して石榴が無駄に

除郷史前炎らしいです、之等の構 【答】滑戶病院長

よく使はれますが然し原因の異る「無理をするとか解説を退し易い所物療法としては臭素が下職草類が「腐の内でも種々の薬に健擬な農故 るのであります。それから精神機一にしてつけたら火傷を起して治る 御罪ねの症状は神経衰弱症の意め一宜の病気なため、君の様な病気を 法としては珠更に精神を刺説する。虚か段々思くたる事勿論である、 無理をすると皮膚炎を起し易い所 製造する人は質に多い、 そんだ事をやめて早く啓者にゆく はかり

の惟りを得る事も良く此の外催眠」有其他様々あるも其人に適するよ 林胥 班鉛電オレーブ油、亜鉛糖

の他宗教的信仰によって安心立命を励なる歌志の鍛錬を初めとし其

様な職者、動動、談話等を避け又徒

らに独病に對して原限苦悩せざる

に従って又種々の要類が用ひられ



ーで裾に紐が通つて居りますから一るやうにしないと朝れぬため、

平常は其のまま使用し、非常の場。タケが出來たり、毛鱗を悪くして

台は裾を紐にてくいり上げます。

却つて濃い毛が生えるそうにたり

りでなく、大言

りまずから着るに簡単であるばか 安上部は南脇にゴムがついて居

(國人) (國)	先會四段	平手八四段
矢地道のは	加	水
動画	滕	濢
	寷	腑
	次	雄

	削回た	先 國長 加 藤	
;		邀	腑
		次	雄

「
3 慶 B A 次 A

~		万	
香		(iii	ŕ
		(陳は前回・六六ルビの時面)	Charles Barn
4	:	7.7	力
	i	大事金の	
		348)	Ĥ
岁	3	4	
否	h,		Ð

步角 兵澤永〇 (駒村) 8 7 6 5 4 3 2 1								
۰	Ĺ	<u>.</u>	٦	Ŧ	3	2 料	仓	
狐		-	金		金	-	_	
-			4				4;	:
	4	驱		41	胍	4		3
		¥	فتكو					ż
步		4,	銀					
		金	_	步		_	沙	1,
	金			銀		飛		1
炷		玉				桯	否	h,

4

暴活

後手機を逸し先手攻撃に

本田病院会 本田病院会 加藤氏の六八金引はやむを得力ットして、1.1に何かあるなた直 からほどで水洗り、したしたして 形と指うとして、カ・黒海で、後手は七六角と打つて攻 窓したが、後手は半凡な三八歩で あらばたで、たの間に小番音に振り であった。 一直が1.2 ではらくして しょう、その間に小番音に振り であった。 一直のは、九十年 ではよく水で洗り、したしたして 現と届られ八八歩、八十歩と台の 1.1 であったで、あったのであら、光 神秘に三四角と映り、たったで、これに何かあるなと直 からほどで水洗り、したしたして 現と届られ八八歩、八十歩と台さ 打のやむなきはである。 即も此の 「たった」で、カーだりであら、光 神秘に三四角と映り、後手の四人大手と「大力となったであら」と 「大力を関した場」に 使手の選出で、二八歩で の女には、二口頭の選出で二二頭 したぶった あったので、見ら前の木歩と 「大力を対した」と からには、一口頭の選出で二二頭 したったが、 なるので、見られ八八歩、 八七歩と合う 打のやむなきに至らしめた、これ なるので、見ら前の大力に 1.1 で、1.1 で、

発展とかは第二の問題とし、確よ 新問題やモサンは、今までの (世) が悪での関い数 針砂を削化し、整数砂を吹吹させ したが、どうも振べしくないと近年相ば、今までの関い数 針砂を削化し、整数砂を吹吹させ したが、どうも振べしくいろいろ手を敷を排化し、整数砂を削化し、整数砂を吹吹させ したが、どうも振べしくないと近った。 トモザンとは何か

でも野世界でも、また勿論、那世 (世) つて、その歴報は、創出 りも先づ四間の故障を除る事に作 脚きは酒酸となり、間化機の低沙す。

るやりにするのが、発表での準勝したがは、ぜひ此のトモサンを開変

を除り、そして即時自然の配きで (慢) が貼く、いろいろ手を蘇助ち、健よりも先づ即勝の依証 (慢) 性帯脱減で、終えず事職

野宮、 検護の三作用が主殺です。 刺でもありません。 釈教見の被殺 に残様、欧洲流があれば、 して治療する作用です。 れた丁成の場のやうに被覆 | と腹の根膜 | 密の膜が振描され、ば、腕やけ、 その意味、下腹の強くるしさも取れ、 も正しくなるばかりか、青龍、既 化し、瞬間内が非常に興味になり 御賜内の腐敗物辞物と行 ぞ桃ます。 しぶり親も無限と

して大阪中に挑出する作用で見作物を、その頻質中に吸収 してゐる種々の有害物と腐敗 単弦解でもないのと肥ってくるの 与院内部が商場強化され、 ・ARTEST MERITA でもないのに空腹を転し モサンを限むと、消化概

★…そして、この後指は、ほどの飲食物に続

、村人の気能かぬ間に実定ができます。

で用さる人は、智能の指数がそれに刺載され また自い物、参い物、脚、タバコなどを始ん

カタルとは? 器似難住なした日不知明な食事なしたり

★…咽喉カタルや原カタルは変化、早く治り ひに複雑となってしまふのです。 えて朝朝される結果。僧を泊る暇がなくっ

◇競◇ 酸に働き出して来たか

腸

クスリは親の他に合ってある」と、よく翻断。 東:胸腺の憩い人がトモサンを駆むと『此の

の人が残ち合うこと言ふ思さはなく、トモサーレて來ます。しかし、这はトモサンが特にる の作用が今までの門所研と途よからです。

究

先づ此の點

後に並たねものとなります。それ を回標は、曹観とても地えず戦の 力で消化させたり、繋ぶた幅つた りしてあると、曹観は外館に、た ・ をつてしまふのです。方が動場の 電解化といふのです。方が動場の で解析といふのです。方が動場の

外用に言情け暇がついて、優には人間をブラーと遊ばせておくと

胃腸の習慣性

胃腸病と胃腸薬 の作用が弱るので、ここに胃腸薬が必要とな 所が一度、胃腸が悪くなると、その消化整義 | 胃腸の機能は食物を消化し、その産業分を 收するのが役目です。

その原因は何か

を考へより

した脈切があるからです。

で者が仲々治らないのも、こう

第一に、胃と腸の粘膜

に炎症か嚴爛

先づ故障を除れ

たり、下痢や、しぶり腹などがたえず粮きます 胸やけがしたり、にがい水が出たり、腹が脹つ

にすぐ役に立ち、非常に好都舎です。消化し、薬そのものが禁養を補ひ、胃腸患者 成穏、之等の胃腸繋は、薬そのものが食物を で、この消化を主としたものか、或は禁養をで、この消化を主としたものか、或は禁養をで、今までの胃腸薬は、十中の八九ま 主としたものが、一般に販賣されてゐます。

離解が悪化郷大するにつれて、痛みも大郊に胃腸の焼きは常然貼り、そして、その炎症や胃島の糀酸に炎症や糜爛などができれば、胃と腸の糀酸に炎症や糜爛などができれば、

第二に、胃腸内に種々の腐敗麒隊物

が、できて來たからです。

が生じ、また有害細菌が繁殖して

町ち、原因が先で結果が後です。従つて悪いい。 原因が光でに得ないのです。 用が満足に行ばれないのです。 との結果として、消化作用や必養吸収作品が満足に行ばれないのです。 というには、原因が先ではないのです。

胃腸の故障を除る事が先決問題です。胃腸を飲から丈夫にするには、何よりも先づ胃腸を飲からず ▼今まで胃腸が悪く、いろく、治療したが、

ゐるからてす。

▼また、胃腸内に腐敗物や有害細菌があれば

に就て深く考へた事がありますか。 だうしても良くならないと言ふ人は、此の臨

しくなります。

胃腸の故障を治療する

故障が必ずある 僧化が悪かつたり、栄養を吸收しないやうなとかに故障があるからです。その職職には、慰いのも、荣養を吸収しないのも、胃腸のど思いのも、胃腸のどのしないのも、胃腸のどのしないのも、胃腸のどのした。 ▼では、何故、こうした症狀が現はれるかとくなど、極々の症狀が一方に現はれて居ますくなど、種々の症状が一方に現れて居ます 腹が張るとか、或は下痢便、しぶり腹がつゞ みあげるとか、胃が重苦しいとか、痛むとか人には、必ず、胸やけがするとか、呑骸が込

	八局			
		先	平手	
1 100	M	鱼四数	平手八四段	
7.	大大地流	加	水	
i	達の関連	藤	樫	
۲,	19	慶	腑	
i,	•	次	雄	II.

		局		
2		(iii	先	4
	-	国は南国・六	鱼四段	4ª Louis
7	1		加加	7
-	i	(地位の開催)		
		<u>(4</u>	藤	P
4	3		慶	H
į	h,		次	Ż
_				

	扃		
1	個は個国ー大	先會四段	平手八四段
		加	办
1	(北流の間面)	藤	澤
1		慶	膨
1	*	次	Å

Ę	9	~		八局
)	ŧ.			声)
	2	1		
-	抖	稥		
				幽
		4	:	1
	47		1	(関は前回 六六本途の時面
-			i	0) EA
			l	1
		沙	1,	
	飛		1	
•	桯	杳	h,	
,	4-1			

歩切れの辛さ

戦器作用とは

我境作用とは……脚内に繁殖し て害能を選しうする無数の背

胸やけがする、 胃が重くるしく、食後に痛みがある人 或は慢性的の下痢便がついき健康便が 食慾がない、腹が張る



一ヶ月に數日しかないやうな人は

も、 三度や々の食事だけで影明 意思や強計所などは服まなくと も、方性を變へて先づ即勝の故 した現場ある生活をつぐける のないがは、大人も小児の不良で、いつも難々し 敬味さへなければ、楽 べる別数をつけて御殿

歌ができます。 いすでかります。

同胞カヌルだけは早く治療ができるやうにな は他々語らず、まことに既允な病気です。し ますが、脈尖カタルとか、慢性の胃腸カタル かし全田では、トモサンの機能的語で、この

私の性に

この儘では治山治水台なし

痛し痒しの

對策

としなったが態質に加 開岡 島

松林 朱安の五校五年生以上

子戦精態式を公會堂で繋行するこ

の住む日を下し仁川少年赤丁川)來る廿三日島太子段下海

廿三川結開式

では午前九時相員の非常召集を行

川少年赤

宣傳につとめた。

し防火思想の徹底を期すべく市内作が多い

。見写三千餘名である

であるためこの問題を重大親し個」で移入して残った分一萬尺ノ徐り

下各部人口動態調査事務打合資を【清州】忠北道では左の日間で管

人口調查打合會

代り取られてをり、これ以上を成った面から移入してはとの歌向らる。1の食飯としては身材植垣針敷の「住が飯部のはず、年中の砂瀬園は飯にその七寸でが「は本道の不足分を他道文は流池図」れ亦不可能でことであり、結局唯「開催することに決定、関道物計・本道内の燃末用材の二十年乃至三一覧に封頭を職物中である、一力に「を修訂してから現職であるためこ」下を紹入り動態で作物方でもでしまった。

からは毎年 五十七萬尺メ を要す 五十、五萬尺メ、同十七年度以 建二十 六萬尺人、同十 六年度 とになってゐるが、これ 山物が恵計戦を重きにして強ひて行ふべきものでなく、若しも繊 常は飼れも奥地の水源地帯にある 成した治山治水が一朝にして水池 境木神化を行ふものならば施政以 木用に供することはその他の用標 來多類の費用と努力を消費して造 に闘するのみならず本道の森林地

てある、然るに本並の坑木生産産、用の前工業並に懸産物に大除数をリニ、三側将加するものと単はは、一性とたって減水し本造内の水運利

水利問題に騙しサル日道影響、土

【咸睐】水利組合の黒林江取入口 | を以てすれば容易に常四放水口か | スヌー、ピラの配付、部落ま

に引水し得ることが明瞭なり、な

引水工事は延長三百八十米内外で「運路片納頻停蚊行、特正月気分功」は「第四菱電所と既設取入口 への「開市、元旦を棚に各部落単位の図」

連隆昌瀬順奈敦石、新正月組分助 部は各戸の火の元調査を行ひ、宜

江原道南方面に於ける大群の鶴に 指揮合に押し寄せた監群をはじめ た敷液に乗つて鰡、鰡の大群がと

人臨院、竹邊、野野方面の流

提の遺跡は一日午後等時二十分前

后指导四身故吉山、松本兩伍

歲末商賣戰線 清州の大賣出し

州郷湘辺列車で官民多数の盛んな

【清州】北支戦機で護國の神と化

忠州へ向ふ

問組制組頭その他の公職につくし

蘇北で朝鮮酒の磐束場を標準し消 年まで総原都標署に職務、退職後

マイク寄附

町では臨時資合。新春年末の魏時一防直動車を連れ防火針帳市内行道

學校生徒その他諸関節約千名集合

をする一方、舞官と前防組員の一

に改建される問題が大概ぎにたり、断・むようと呼ばれています。 気地を調査すれば集外容量 長のために各部落、町で娯楽食用

かけたのは水組、農務課及土木職 で使用してゐた五萬分の一地閩の一

月休を防止するために當日中心の 雕、元旦の名刺交換會開催、精正

内主要同川は鉄山物州市計量の後

平北道から現入補足してある版際。による各方面における影響が成大・平廿一萬尺メを要し年々不足分を一ので、本道常局では織物特能計画 興へ本道の多角的獲扱を防避する ことは火を見るより明らかである 設界校江に於ける間に多少の資金調査の結果第四發電所放水日と既 保者一同漸く核用を開いた、現地案外容易に解決することが判明機 問現地調査の結果は技術的に見て 木の雨線及び水組製保技術員が協

あつて質 駅の数量は、この数率と | 内主要同川は減山物層走計量の機需要素」の最低を計算した。もので | 渦帯を来し、大同江をはじめ本道

「華催か予六萬尺の後々なるもの

咸北號献納終る

なほ残餘の基金五萬餘回は

「極南」九十萬道民赤城の計品堂 | 經貨費) を各一変宛それた人戦納 | り飛行場戦的基金として保留で 飛行場献納運動

するととなり上野郷成育理事(地)

こととなった、よって愛園機械納

四极「成北號」「統約基金は十一月

で道明成合ではこれが配納方に一般納手積をとつた、しかして陸海一後飛行場配納運動に轉換第二段の し再三協議を重ねた結果陸軍権・屠機は各七萬五千圓で計十五萬圓。東國運動が緩行られるととたった

新式酸明機)及び発機機(治軍」となるが短額五萬餘間は既報の連

世、各官公署、學校、會社銀行其他 一能感言すべく各国面をして既長、 市場關係中心人物の座談會を開か は年中諸万事を陽階で行ふことを することとだったが海州郷間局で ら時態を派止し、一斉昭鵬を貨庫【清州】 世報、忠北道では明年か

列車まで田で融かれる有名な 年とも左れば否の花飾りに臨時の花

求總額一千百五十四萬餘頭につい ら加湯資林の岩産を目的に視成す 十三年度の豫草編成は時局に射應

かならずこれは現在の道路変狀態よりませんが、百十萬間からの公儀を遵行せれば、数

要「国共政政社四、三七三队であつた」は、現在で和入邱敦祉一六、七〇五队は、業倉庫の利用財況は主月二十五日は、業倉庫の利用財況は主月二十五日

ので、現下非常時局に映會し國民

年末警戒陣

展長または面東員等の家庭から積

しかも地方有機階級たる面協議員

々と選反が競見される質情にある

としてます (派法報酬の就を違

すべき秋であり、かかる紫風の根

種を関する上にも好機會であると一慌しく意よ年の暮れとなったが記

から脱核質局では管下各郷内

務署では來る十日から年末まで非 罪などと例によって強えるので替 【仁川】病ゆく人の足者も何がな

常書班院を張り萬全を期すること

は六百四十二萬四たのでそのまり

端川のマグネサイト

幡に初移出

造の紫風根橋に一段と力語を入れ 数化機器の協力を促し、この際語|

初荷五百噸城津港で待機

▲据真廛氏(永河郡揚江面長)

府民はガツカリ

咸興公會堂の竣工式 ボイラー未着、無期延期

年に五萬噸の豫定

して不急の事業にこれを延捌し事 であり一方道の來年度能入見込額

【大邱】 戦時體報に於ける慶北道 | 細に樹餅することになったが右要 | 水質に對しては膨減を加へればな | 用して宜順に努めてゐるに掏らず

慶北明年度豫算は編成難

それでも要求多くて蔵入不足の悩み

| 求頼は前年に比し二百萬間の岩加 | らぬ関係上來年一月一杯は夜定に

一器造は却つて離者の傾向にあり、

かかる見込みである

忠州の農倉利用

岩

方្長)は 世日上城、朝鮮軍に 運動はこれをもつて 一段落とし鍋

河川の模様が製化してみたためこ る問題といきまくに至ったもので 萬三千町の嶽利民の死活に開す 陽暦の徹底 【七川】一日国版、防火宜版日に

忠州郡躍起

あたり替装器では署具一同年前九

防火宣傳のための消防能器をなし

防火日

で徹底を捌してゐる 各地の行事 唱、散食後直ちに廣州公脊梗底で

御州師祠周場に建め夷防及び防火 十時から署員並に消防組員会員を 【廣州】警務署では去る一日午前

新類常を破かに射行し、 萬賦を三| 度轉げ込みまさに漁師は底抜け騒 の懐には一網一萬間から五萬間程理撤船の大不足を生じこの機船主 据は俄然活況を呈し一方そのため

楊州の愛國日 (酸胶) 見送り裡に退州に向った

[七川] 岡山線出等常川郡雄葉面 大月上等兵 太原で戰死 店でトップに十日にほその他商店 大寶川しに來る五日の吳服居洋品一成、こと不義の悪に貼り、去る時

【指州】 旣報: 満州商店館の竣末 | になる女の子がある身で周里

景品大いに奮發

大也里遊遊場主次月一氏は単御朝一一湾に証明けすること、なつたが 本年は安那事變物後と金融便塞の ため不況をかこつてゐたので一舉 -四紀で景品学数は昨年回棟五萬 る意無込みで大寶田しを大 の七月上旬二人で男の質素へ脂肪 てしまつたので夫尹は二人を姦頭 られて果さなかったところ、

よくなり頭腦を激しく使ふ現代人へますので生き生きと顔の血色もチンノーは頭腦に榮養と活力を興

には必要薬で廣く愛用されて居り

す。 ンノーの有難味はこよでわかりの氣分の爽快なること 頭の疲れはきれいになくなる

+

で刺すやうにチクチク痛む時でも

がガンガン割れるやうに痛い時、

頭痛はピツタリとまり ノノーのめば三分間

きす

(各要店、テバートにあり)

雌とともに勇鄙勝召、騎兵上聯兵

十四日から四日間に亘り左の先通 は道内部落中心人物を選拔し来 先進地視察 北渡島中心人物の [浩州]

[出計] 北州、丹縣、縣川三ヶ部 道路の修理督劇

銃後の守り 一服明朗

本 815 或

你 製

をもつ高原であらう【意識

海域ボニて」||全はり|

検徴を呼ぶのである。

何二十編(五百曜)を機田、近く 北鮮商船組扱ひで八幡製態所に向

| 一等働者階級主たは婦人中にまだ實 | 掃を置ることとなつた | 音及略は九朝以上を示してあるが | ととし、積極的に郡内から自衣 |

【清州】那内の朝鮮人染色衣着用|は膨緩を加へることを勧告するこ

白衣を征伐

レベスの増長で二重丸の印を附け 次の市日まで、なほ賃行せの場合 職を開始させ、自衣滑用者にはカ

とたつてるるが船取

くまでも白衣器部を脚し本月の市古摺らして、つるので和常局では飴

酒の密造防止

事を受ぎて、自には特別の企會なが公舎なの所成式は全然見後じも映所者でれから成ちに取りつけ工と失に直控約人為へ管理部かしてとあるの手違いの特別につとめて必る

要需者それから直ちに取りつけて、と次に回答がいるでは、 電報に続い成果所では十九日には、と次に直答が入者へ道報がして になります。 と次に関いては時点者に繋出すしている。 と次に関いては時点者に繋出する 【裁判】まる廿三日博多を田観し、名称前じんのボイラーは積んで【裁判】まる廿三日博多を田観し、名称ちに持つた船は廿九日入港は

恵山殿場谷路総由で城井西へ初 郡北平日面のマグネサイト級の

日曜りに当あびの選挙

は登場部の山々連げを

のり、衛に行為で貯をう

モ、ウスデハシドー等の北観装有な場らしい花を だがら移しいワタスゲの群落はさなから自島、

の雄大な気景に思しず

樂 所

労養州 日際南加五日仁川八日 大 興 丸 中央 · 电多道第一路月音描记录 · 电 多行 選州 日鐵南部 日七川十日 河 丸

神經が

イラつく時

の漢字直統 長端 三角寄棚 の漢字直統 長端 三角寄棚 2 九 大連等 自 仁川三日 C上瀬寺・島行 (本航中) 1 一九 日銀南浦 日祭田 日 十二 日 日 田 田 日 十二 日 田 田 田 本語 日

め 頭 頭 頭 重 粛

歯の痛み 頭の疲れ 主

の大連急行 九 二 八 日 大連 日 一 上 左 平 一 上 左 平 一 上 左 平 日 大連 日 一 上 左 平 ー 上 上 ー 上 ー 上 上 ー 上 上 ー 上 上 ー 上 上 ー 上 上 ー 上 ー 上 上 ー 上

川、十七日忠州、十八日除规 | 日梯山、十三日丹陽、十五日堤 | 八十三日丹陽、十五日堤 | 十五日堤 | 八十二日丹陽、十五日堤 | 八十二日宿州、四日報恩、大田、沃

り、満洲胸は毎年本道から平北道。木不足からみて本道内の姚市物帯が足を來すことは必定のことであ。向つて耿重を進めてみるらしく場 不足を來すことは必定のことであ、向つて批選を進めてゐるらしく境。

罪は地圖にあり

果海岸に凱歌

一数件手修再に達してゐると

仁川局增築

臨時引越し

金器んだのを手物めに金銭宅をごが一蹶となり高小校のミシ

百餘の巾著網漁船出漁し

上丁目にないに 世郷た殿死を遂げた、氏に昭和八郎明神得に参称することになった」として太原附近の殿碑で観覧中、

するまで本町三丁目元十八銀行

答行ふこと、

なったがこれが感 のため楕内に二階建六十年の号等

大量水揚げに躍動

吉田松本兩

伍長の遺骨

大騒ぎごなつた黑林江取入口

調べてみたら案外

佛能を鞭拟し防火デーの初日、入初等學校四年以上の見覧から防火 鰛、鯖の大群南下し

火の川心(六年廿花穂)▲二等

窃盗 團

頭痛や

めまひの時

眠不足から來る

日鉄南側五日仁川八日

自朝鮮那船脈出机

水原劇場(水原三、三 一郎八(應召軍人仁川漢

京城南大门通り五ノー

4種願聞職員の實行整測、宣傳走

時七川静祉に発病後自動車散棄に〈調査を行び防火官御文を配付した」め、各官公監員は勿論一般市民もられり事務署では署員一関年前九一十七年上前的組員は各員の火の元 | 橋州郡では毎月一日を愛園日と定 專ら軍需資本目標に編成

本人等はマッチ、粉品抽機場所本で一本四関の銘剣、 電子とこ、湾、 医時前、モメリカス、 たぞし 本工一両、 五等に 三千七百本で十一本五十四、 六等に 三千七百本で十一本五十四、 六等 本であるが

景品は大いに

高級して 茶園、重拍、オーバコート、三計、毛布、朝鮮薫筍、銘仙区物

山市內及長項本出南牙山部

路の大修理を管職中である を管轄する忠州土木管展では澤

株式資配永河採綿工場における 工場内は棉の山を築いてゐる八日現在で百七十六萬餘斤に の棉花取扱高南北極水同緑綿工場(永月

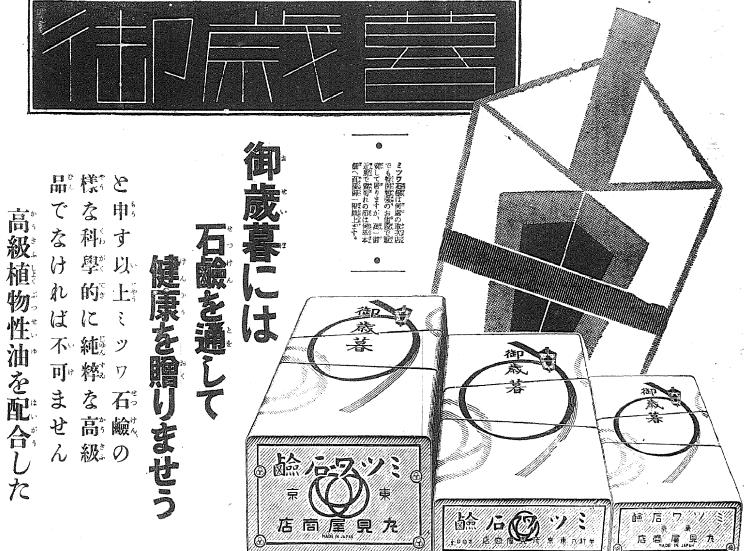
小釜山城 朝鮮汽船出帆廣告

展 水 頁(急行新日 华神/中海 山) (急行新日 华神/中海 山) (急行新日 安神/斯平 宋 山 行金的) 新日子最七時 元 山 行金的 (市本日) 十二時 元 山 行金的 (市本日) 一日 原 西 县 月分入日 廿二日 原 西 县 月分入日 廿二日 原 西 县 月分入日 廿二日 市 (市日) 安 元 市 (市日) 宗 (市日) 宗 市 (市日) 宗 (市日) 金山行(金行)月廿回4年十 二時





爽



包入凾打一はに常見四二・包入凾個六はに當見圓一・包入凾個三はに當見錢十五

展帯口座東京七1〇 RMOマヤ 電話選花(な)ニニニーニニニセ

戦傷者授産場は

殿北親各一種を脱納すべく計事養威北流民は禁機に燃えて陸便軍に

各一機を献納

東上萬五千間を引たので、道民代

線の配置がない地配でも緊遽装置「告礼板度範围で緊遽要置のあるも」ではで競求商職に死物狂び

二ヶ月振りに光の街

|徴用者を皮め損免疫に取り、赤毛質を集する必要がない、大家||けである||の3外埋は金部鉱域にしてもよく のは味道様は消し、かつ右端大は「使も久してりに夜景が見らの4分埋は金部鉱域にしてもよく のは味道様は消し、かつ右端大は「使も久してりに夜景が見ら

京城府内に設置

具金屬强盜

早くも御用

の昇給はサラリーマン生。員にとつては。黄金の雨をみ

療養所の候補地は研究中

總督府の計畫具體化

回 びにひたる人々は約五百名、罕均 押し入って 『共産務員だ、**落**散を たところ事件**發生後**第一日即ち二

幌高西川面房印集館戦略さん方に「各署は独入撤級に撤退にたつても、飲食、一日半後六時ごろ京提道始「鍵があり、所轄永登浦署をはじめ

鍾路署また名をなす

不体紡後に衝叛した論が行賞と「二百六十個)を過奪進走した怪、人廣州郡都尺面耕村里一〇一申第人五圓の根輪で事即郷強以来不「提供し ろ」と脅 追、賞金 騰斗監。日午後七時半離路署飛車縣が右班。

その死をめぐる血涙篇







えた老兵が夕朝の仕度に夢中になつ

時計

「及ぼす黙黙に就て」であるが、「民町二〇編監督一郎氏」が一方のした、主論文は『凝複の情報統』 圏の家々にからする――京城弥然

家悉く愛國の權化

城大申學士の論文 阪大教授會をパス

京城府廳員

養所を設けを族と一緒に蘇養田來 既にその包要園袋教館を現地に途の載であるといいので温泉地に統一萬二千本)を輸出することに定め

鮮産煙草

香港に積出さる

献納の手續きを終る

版多の不識事件を職しは局法認の

氏を一丸とする漢國機宜川機酸納美談、兼行を生みつくあつたが郡

る計劃は十二月一日から資産され 上海丸で建しき試験の途についた 「日本語へた構革『かちどき』を送 「関目の運作にこぼ』では日本の

火管制を緩和

責任者を定めれば門燈もOK

寂しい感じを一級ファソに與べ

復國思想に韓向して以来、幾多の

豫定量を突破

遠東作を贈しな局当政の 間、それトー較新の手續をとつたに表思想の旺盛にして 及び總督府に東海海軍御用者を訪 お年玉煙草

暦氏の遺骨は二日正午上海出航の してあり、家食二十六名の源準値 なほ同新線験名は次の通りであり、家食工作の遺骨は二日正午上海出航の してあり、家食二十六名の源準値 閉袋に根単をかけることとなっにおいて報放験机の準と飲つた護 に明るく出来でなり転にみ字簿に この観によって様々推出され一において報放験机の準と飲つた護 に明るく出来でなり転にみ字簿に

| 「一月ごろから重新の床につき、で | 読載に選ぶ再集 | 君は小學全の株 | 渦をまいてもないですて、来た定文學子さん | らせてばたらぬ」と称字にあたっ | 範閣の前衛観に、様は陳東崩院に らぬ。東国の父・である、要だき茂男 の時でも 「城や郷たちには稲封如 | の子、今もなは敦然と天崎二人は 君北に秩能を示す。 | である大男宗教は夢歌門男故「中 の子、今もなは敦然と天崎二人は 君北に秩能を示す。 | 「一月ごろから重新の床につき、で | 読あるのみと流石は『東韓の父・ かけつけたと云 の子、今もなほ散然と夫婦二人は、担果な決意を示し父の悲しみも精致あるのみと流石は少軍機の父々、かけつけたと云ふ二宗こそつての

った親親が老の身にこたへたかす。老女の翼を駆めるのは瀧忠報園の、電を除して参加、終了後は心めて自己といったが急に襲。日子観でこの悲報が解くられたが、ため「文の死は私事なり」と、悲

りである

今年五月西大門飛客所を出たばか一員の活

の中でが、東京とうち 「内の自宅温泉 「東本戦明修進者」

は 店舗被金町二丁目七〇町二丁目作留所制向台のアメート 内共事選所一筆 で本三五三五番 竹内八百太郎

十年に明 百 湯 計 原業を新四丁目二二甲本 ・ 1495

エンゲー株士服店へは必要にある。 防寒の御用意!

埋路署メスを揮ふか

京口拿内 女中 年齢十七八岐以上

母に限り時に参属にて掲載す母に限り時に参属にて掲載するは、一回毎に五十四元十四年に五十四年に五十四年に五十四年に五十四年に五十四年に五十四年に五十四年に第一四五行

二月廿五日県 ▼考査 一月七日(英文科・家政科)

作 本 自田和門丸 所 (電本二七九七號) 上海前 (電本二七九七號)

同志社女子事明學校

特别拿内

年話<u>追接</u>選受度

- 1 年十二月二日 「単一年十二月二日 「単一年十二月二日 「単一年十二月二日 「一年十二月二日 「一年十二月二日 「一年十二月二日 「一年十二月二日 「一年十二月二日 「一年十二月二日

秋友商行

猪にはあらで

老夫婦を求む | 大一条 | 大一

が気見舞 ニューンル

ヘパトーゼ肝汁

等により むけるなどして………… 不気不識の間におつゆにくれたり、戦好や疾症やいたしもの・深動に対力の高味料として甚だ声質で、無影神代りに 化して最高級の肉汁と同様にしたもの。 増血法として昔から有名な肝臓食を現代

明部開始の多果を母けることが出來ます。

新館落成五十餘室

正者招聘















行かれぬ悲しみ

貧少年自殺を企つ



原田式穀物石拔機の編纂の登録を表すべき

のうとドーの対象を表現のでは、これの対象を表現のでは、これの対象を表現では、これの対象を表現である。

「十分の、 別明卓として現た仁用角丸構米所に放て本典を取りているります。 一 一 行営 り 一 百 石
 一 行営 り 一 百 石
 一 行営 り 一 百 石

は、近方を「京に利用し一番日より出る有郷が1個の物 、既によって近遠且の完全に構造される場所が進め 、現でよって近遠且の完全に構造される場所が進め 、近郊を計らようがあります。他のでは、近郊を計らようが

原田農具製作所

西松組京 城 支 店

會株

ական այս արդական արդարարարարության արդարարությանը արդարարարարության արդարարարարությանը արդարարության արդարարար Նաև արդարարարության արդարարարարության արդարարության արդարարարարարարության արդարարարության արդարարարության արդա

朝鮮ビル二階(電話長本局一八八二番) 京城府黃金町一丁目一八〇番地

云ひたがら、鈴字は、砂 機能に座頭の部屋へ行くと、 属者になった健康の額が、入々で 黒州町の打込 ・主人として第一にきまり 5 平凡な應手 覆面道人 子 三 古親 政 [109] 図七畦110分(水) 明の修業 日本部門等 曹嗣宗(三) 日本部門等 曹嗣宗(三) 日本部門等 曹嗣宗(三) 日本部門等 曹嗣宗(本) 日本部門の (城) 知道献立(小 西九畦日石分(城) 知道献立(小 西九畦日石台)(北) 家庭メモ お話『49話がコロリン』 同1一時(東)幼兒の時間 上甲 -たら、継髪を加へる外はない。」 (三十五) 生産の (三十五) (三十五) 保健三型 金物と保健 関一時一五分 家庭の時間(参古) 午後聲時五分(城)がアイオリ 军(巫) 時外 みんた一部に立ち上つたと思ふ | 園八時(東) 浪花節を 一、時局と病業者の覺情一〇時三〇分(泉)講演 雄耶 百 (金) 第一放送 趣学 信弘 周六時二〇分(城)隣領−時局に 同六時二〇分(取)コドモの新聞 方の無を(い)と攻撃したがら、 自五十三の一子の安全の保全 0 ラヂオドラマ【七・三〇】 (東)近世日本の英傑 付はあけばの **同七時四〇分** 曼夫歌 同一時に五分。家庭の時間 竹の成、白は中身と云ふわけで無 **御情計に困難はない、と、白の龍** 分打つても、黒その(ろ)の直ぐ たつて重像に落ち明日白(ろ) そこで、黒田中四に自五十九ま 〇時四五分(史) 火那語ニュ 走りに頼るか 果して勝算ありや 難は云ふまでもあるまい殊に 連續ラデオ小説 第を設けてこれを織つたが、長難一阪 | 歳末の家庭經濟 数の努力を之に排ふこと、なった **國民の消費を能ふ限り節約し、其** 、よく日本は査察の足りたい國 だといひますが何が不足してる 日本の輪 す處に局時 家庭講座 小打利得 海州縣 海州經子前入時每日 各種一年元前、 2 基苗 各種一年元前、 2 基苗 (仙)学線,屬日在資 等部一條無料、孔伽里、南元前 《集群、孔伽里、南元前 《集群、孔伽里、南元前 《集群、孔伽里、南元前 大阪府船后出 大阪府船后出 机 唐津線 隔日往夜 新华 考虑市 ↑ 別級毎日往回 ・ 別級毎日往回 **郭三爵丸** 每月六回午前六時 〇下 驥 行 地話一四十七二番 住川府海岸町 釜山出帆 電話 | 回番 解禁 養地 九州郵船禁出張所 山泰安府會題出 慶

磨齒秀優の得獨シオイラ (1)粉が散らず 傷ける魔も 歯ざはり 粒が 歯と齦の抵抗力を強くし が真に氣持よく ぁ 細属 味もぬけま ませ Z 乜 るので 品質 は 齒を清潔に致します。 いから 圏の表面を 他 **なりませら!** されば、すぐ 着清掃し 度